

今日は放クラのみんなと海に来ていますっ!

ちよっとお手洗い行ってきますねっ

「果穂、迷わないよう、気を付けてね」
「えへん、大丈夫です!」

「あ、あのっ、そのキミ!」
「…?もしかして、あたしですか!」
「そうそう、キミ!」

「今ドラマの撮影してるんだけど急に体調悪くなっちゃった子がいてその子の代役を探してるんだけど、キミどうかかな?」
「知ってるかわかんないけど、『ジャスティスV』って番組なんだけど…」

「ほんとですかっ!」
「やりますっ!」
「やらせてください!」
んっ!

「ほんとうにっ?」
「すっごい助かるよ」
「ちなみに楽屋兼更衣室としてあの車使ってるんだけど」
「もしかして今すぐとか大丈夫かな?」
「はいっ大丈夫ですっ!」

「このなかですよね?」
「そ、そ、はいっ!」

「あっ、そのちなみにあたしの役っ!」
「大丈夫大丈夫中で説明するから!」



(んん…息できなく死んじやう…)

「ほら、あともうちよっと…」
「つぶはっ…げほっげほっ…」

「うわ、すげえ
まんこかわいい…」
「おれ先入れるわ
もー我慢できね…!」

「きつつ……」
「これ膣肉どうなってんだよ…」
「ちんこ喰い千切られそうw」

「やっ、あんっ」
「いたっ、っ」
「早く抜いてくださいッ」

「あー、やばいこれ」
「あっ、あうっ、あッ」

「あーっ、てるッ」

「ごめんごめん
つい気持ち良くて
中出しちゃったわ」

(だ…だれか…)

「おい、左手も忘れずにちんこ
手でしこしこするんだぞ?」

(来て……)

「そうそう、もっと
べろ使って
ちんこ全体なぶって」

「ほらほら、もっとお兄さんの
ザーメン欲しいよね」

「ん？ん？」

「子宮もはやく欲しいって？」

「おっけー、もつと腰
速く動かしてあげるッ」

「あああああああッ♡
(でちゃうっ、でちゃうっ……)

「んっ♡んっ♡」

「どうしたの？」
「もしかして気持ち良くて
失禁しちゃった？」

「おっッ♡おっ♡お♡」

「あッ♡おっ♡あぁ♡」

「じゃあ次はこっちの穴も使っていいっか」

「なッ!?おしりにそんなのはいるわけないですッ」
「大丈夫大丈夫、お尻もザーメンでぬるぬるだから」

「ほら、ぜんぶはいった」

「ひゃあッ!!!!!!」

「もうすっかりまんこも
どろどろになっちゃったね」

「お、まんこ空いてんじゃん」

「!?!」
「だ…だめっ…そんな…
ふたつもおなかにはいんないっ」

『ああああああっ♡』

(あついでい…あたまもおなかも
溶けだしちゃいそうです…)

『せーのー』

『ああああああっ♡』

ああああああっ♡

(樹里ちゃん…ちよこ先輩…
凜世さん…夏葉さん…
そしてプロデューサーさん…)

「ぐすっ…」

(あたしヒーローに
なりたいたのに…患者に
負けちゃいました…)

「ん…」









